

1. 開催に関して

無観客開催とし、会場に入場できるのは、下記の者とする。

- 1) 大会役員（審判員・スタッツTO委員を含む）
- 2) チーム関係者（選手、スタッフ、エントリー以外の部員）
- 3) 記録撮影係（各チーム2名）
- 4) その他、運営において必要と認める者

※上記2)、3)については、完全入れ替えとし、終了後は速やかに退場すること。

2. 大会開催期間中に、陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- 1) 大会開催期間中に陽性者が確認された場合は、その時点で大会を中止する。
- 2) 大会開催期間中に濃厚接触者と指定された場合は、濃厚接触者及び当該チーム関係者の事業参加を取りやめる。
- 3) 上記1・2が発生した場合は速やかに県高体連事務局、専門部長、専務理事、競技運営部長に連絡すると共に、保健所等関係機関に連絡し対応の指導を仰ぐ。

3. 大会開催前に陽性者・濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- 1) 陽性者本人、及び潜伏期間を含め本人が参加して練習を行ったチームは、大会に参加できない。
- 2) 濃厚接触者と指定された本人、及び同居家族・同居者が濃厚接触と判断された場合は大会に参加できない。

4. 大会運営での対応策

大会運営にあたり下記①～⑩のポイントで感染防止に努めます。

① 来場前

・【重要】倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は会場に来場しないこと。

② 会場入口

- ・体温が37.5度以上の方は、入場できない。医療機関への受診を案内する。
- ・消毒用アルコールを設置し、入場者は必ず手指消毒をする。
- ・入場の際、マスクの着用は必須とする。
- ・下足の管理については、口の閉じることが可能なシューズケース等を利用し、各自で管理すること。

③ チーム受付（チームスタッフ、選手、記録撮影係）

・チームの代表者は、必要事項を記入した用紙を提出する。（様式I B A）

④ 観客席の利用について

- ・チーム毎に場所を指定する。
- ・密接な状況にならないよう座る場合は、隣と3つ席を空けること。
- ・マスクの着用は必須とする。

⑤ トイレの利用について

- ・布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しない。
- ・消毒用アルコール、ペーパータオル、ゴミ袋の設置。
- ・個室ではトイレの蓋を閉めて水を流すこととする。
- ・飲食物をトイレに廃棄しないこととする。
- ・注意喚起・意識付けの表示を設置。

⑥ 更衣室等の利用について

更衣室の利用は認めるが利用した際は、利用者が使用後に必ず消毒作業を徹底する。

⑦ 競技について

- ・各ベンチ、オフィシャルズテーブルに消毒用アルコールを設置する。
- ・選手、スタッフ、審判、TO、コートキーパーなど試合に関わる方は、試合の前後で必ず手指消毒を行うこととする。
- ・タオル・ドリンク類は共用しないこととする。

- ・オフィシャルズテーブルに座る場合は、マスクを着用する。
- ・出場チーム選手及びチームスタッフは試合前に、椅子や机の消毒・除菌を行う。また、TOも試合前に椅子と机、T  
O機材や筆記用具などの消毒・除菌を行う

⑧ 閉会式・表彰式

- ・男子決勝終了後、短時間で簡素な形で行う。

⑨ 試合終了後

- ・コートに降りた関係者（大会関係者・選手及びチームスタッフ）は、手指の消毒・洗浄を徹底する。
- ・試合終了後、できるだけ早く会場から出るようにする。出る際は必ず手指をアルコール消毒する。

⑩ その他

- ・運営スタッフが会場内の消毒・除菌を行う。多数の関係者が触れるドアノブ、テーブル、椅子などは特に消毒・除菌を徹底する。
- ・常時開放できる窓、ドアなどは開放し換気に努める。
- ・来場者は出したゴミは持ち帰り、会場のゴミ箱は使用しない。（表示、アナウンス）

## 5. 参加する選手

参加する選手に向けて下記の事項①～③を厳守していただくよう事前に周知する。

下記事項を厳守できない場合、大会の安全を確保するため参加取り消しや退場していただく場合がある。

① 大会参加前の体調管理の徹底

**【重要】**咳・咽頭痛・倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は参加しない。

スタッフ等関係者においても同様とする。

発症から数えて2日間及び症状消失後より数えて3日間において以下の項目にあてはまる方は参加しない。

- ◇息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- ◇重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある場合
- ◇比較的軽い風邪が続く

※これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象とはしないので、予防第一で対応を決定すること（本来であれば、エントリー後の棄権は処罰等の審議対象となる）。

② 大会参加中の事項

- ・こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒
- ・コート以外でのマスク着用
- ・大きな発声の自粛
- ・タオル・ドリンク類の共用をしない

③ 大会へ参加するにあたり高体連バスケットボール専門部作成の「健康チェックシート」を提出する。

## 6. 大会役員（審判員含む）

参加する大会役員は、上記5. 参加する選手と同様の事項を厳守し大会運営にあたる。

## 7. 試合観戦について

応援に関しても、感染予防の観点から、集団でかけ声を出したり、歌を歌ったりするものは禁止する。鳴り物についても同様とする。